



燃える松明

# 火まつり

都井岬

行き交う伝承

国の天然記念物に指定されている野生馬が生息する都井岬。ここでは年に1度、大蛇退治を再現した「都井岬火まつり」が行われます。はるか昔、衛徳坊というお坊さんが、人々を苦しめていた大蛇の口に松明を投げ入れて退治したという伝説があり、その偉業をたたえとともに、五穀豊穡を願うものとして現在も守り継がれています。

今年は8月24日に第58回目が開催され、市内外からの多くの来場者で会場内はにぎわいました。

ステージイベントでは、地元の保育園児などによる太鼓の演奏やダンスチームによるダンスが披露されました。また、スペシャルライブには中孝介さんが出演し美しい歌声で会場を包み込んでいました。

午後8時頃、会場が暗闇に包まれると、都井地区の伝統芸能である都井臼太鼓踊りが始まり会場内は幻想的な雰囲気へと一転。その後、勢子と呼ばれる地元男性らが「トントコトツテ、エイトクボウ（とうとう打ち取った、衛徳坊）」と会場から響く掛け声に合わせ、30メートル先の「ツト（大蛇の口に見立てた先端）」を目指して次々と力強く松明を投げると会場内は熱気に満ち溢れていました。約30分後、見事命中すると、会場からは大きな歓声が沸き上がり、火花が雄大な夜空を彩りました。